

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

ひたむきな信仰心が生んだ、長崎とキリスト教の壮大な物語

長崎は、いちはやく海外に港を開き、異国文化であるキリスト教を受け入れた街。

そこには、禁教令、鎖国など、幕府の政策の中で既存の社会・宗教と共生しつつ密かに信仰を守り抜いた人々がいました。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、その独特の文化的伝統を物語っています。

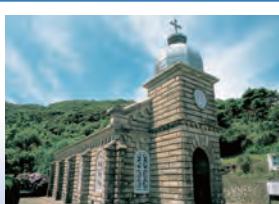
五島列島の関連遺産

長崎市の西方沖に浮かぶ大小140もの島々から成り立つ五島列島には、世界遺産登録を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産が数多く点在しています。五島うどんや五島牛などの島グルメ探訪もおすすめです。



〈世界遺産候補〉
のさきしま
野崎島の集落跡(旧野首教会)

禁教期に移住した潜伏キリシタンが、表向さまは海上交通の守り神である沖ノ神嶋神社の氏子を装うことで在来宗教と並存しながら自分たち自身で組織的に信仰を続けた。解禁後はカトリックへ復帰し、禁教期に宗教儀礼を司った女性指導者の屋敷の側に教会堂を建てた。禁教期の固有の信仰形態とその終焉を示している。



〈世界遺産候補〉
かしらがしま
頭ヶ島の集落(頭ヶ島天主堂)

禁教期に外海の潜伏キリシタンが、仏教徒の開拓指導者のもと、無人島に移住・開拓し、自分たち自身で組織的に信仰を続けた。解禁後、カトリックへ復帰し、海に近い谷間の奥にある仮御堂跡に自分たちの教会堂を建てた。禁教期の固有の信仰形態とその終焉を示している。



〈世界遺産候補〉
なるしまえがみ
奈留島の江上集落(江上天主堂とその周辺)

禁教期に外海の潜伏キリシタンが、海に近い谷間に開けたわずかな平地に移住して固有の信仰形態を続けた。解禁後はカトリックへ復帰し、禁教期以来の指導者の屋敷を家御堂としていたが、やがて、湧水があり防風に優れた場所に木造の教会堂が建てられた。禁教期の固有の信仰形態とその終焉を示している。

佐世保市

宇久

小値賀町

小値賀教会堂

野崎島ワイルドパーク自然学塾村
・シカ野生地
・米山教会堂
・仲知教会堂
・赤波江教会堂
・江袋教会堂

大水教会堂
・小瀬良教会堂

曾根教会堂

赤ダキ断崖

冷水教会堂

新上五島町

大曾教会堂

跡次教会堂

青砂ヶ浦教会堂

丸尾教会堂

有川港

蛤浜海水浴場有川

鰯ノ浦

佐野原教会堂

船隠教会堂

中ノ浦教会堂

浜串教会堂／希望の聖母像

高井旅教会堂

福見教会堂



五島列島

猪ノ浦教会堂

焼崎教会堂

真手ノ浦教会堂

有福教会堂

大平教会堂

龍觀山展望所

若松

若松大浦教会堂

若松海中公園

奈良尾

若松島

桐教会堂

キリストン洞窟

奈留島

奈留教会堂

半泊教会堂

宮原教会堂

堂崎天主堂

浦頭教会堂

六方の浜

福江

福江港

石田城跡

五島コンカナ王国

鬼岳

五島灘

福江空港

五島市

玉ノ浦教会堂

井持浦教会堂

井持浦教会ルルド

大瀬崎灯台

立谷教会堂跡

荒川

富江

福江

繁敷教会堂

福江教会堂

福江港

鬼岳

五島市

五島灘

五島市

五島市